

2008 年度

<p>科目名</p> <p>身体表現と社会 A</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>人間社 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p>村尾 敏彦</p>
<p>授業テーマ</p> <p>社会としての演劇空間</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>ゲームで身体を動かすことから始めます。ゲームの動きに従ったやりとりの中で、しだいに共感的な空間をつくっていきます。それは、人はひとりでは生きていないことが、感じ取れる空間です。次に、身体表現に移ります。こうした実践と平行して、演劇について、ビデオ、DVD を用いて、考えたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業中に課題をだす。</p>		
<p>テキスト</p> <p>必要に応じて、プリントを配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要があれば、その都度授業中に指示する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名前を覚えよう！</li> <li>2. 触覚のコレスポンダンス</li> <li>3. リズムを伝える</li> <li>4. 見えないボール</li> <li>5. イメージ</li> <li>6. 物語をつくる</li> <li>7. 重力を感じる</li> <li>8. 歩き方</li> <li>9. キャラクターづくり</li> <li>10. 目を閉じて走れ！</li> <li>11. ジバリッシュ</li> <li>12. 日本演劇について—鈴木忠志</li> <li>13. —野田秀樹（夢の遊民社）</li> <li>14. —平田オリザ（青年団）</li> <li>15. —鴻上尚史（第三舞台）</li> </ol>		